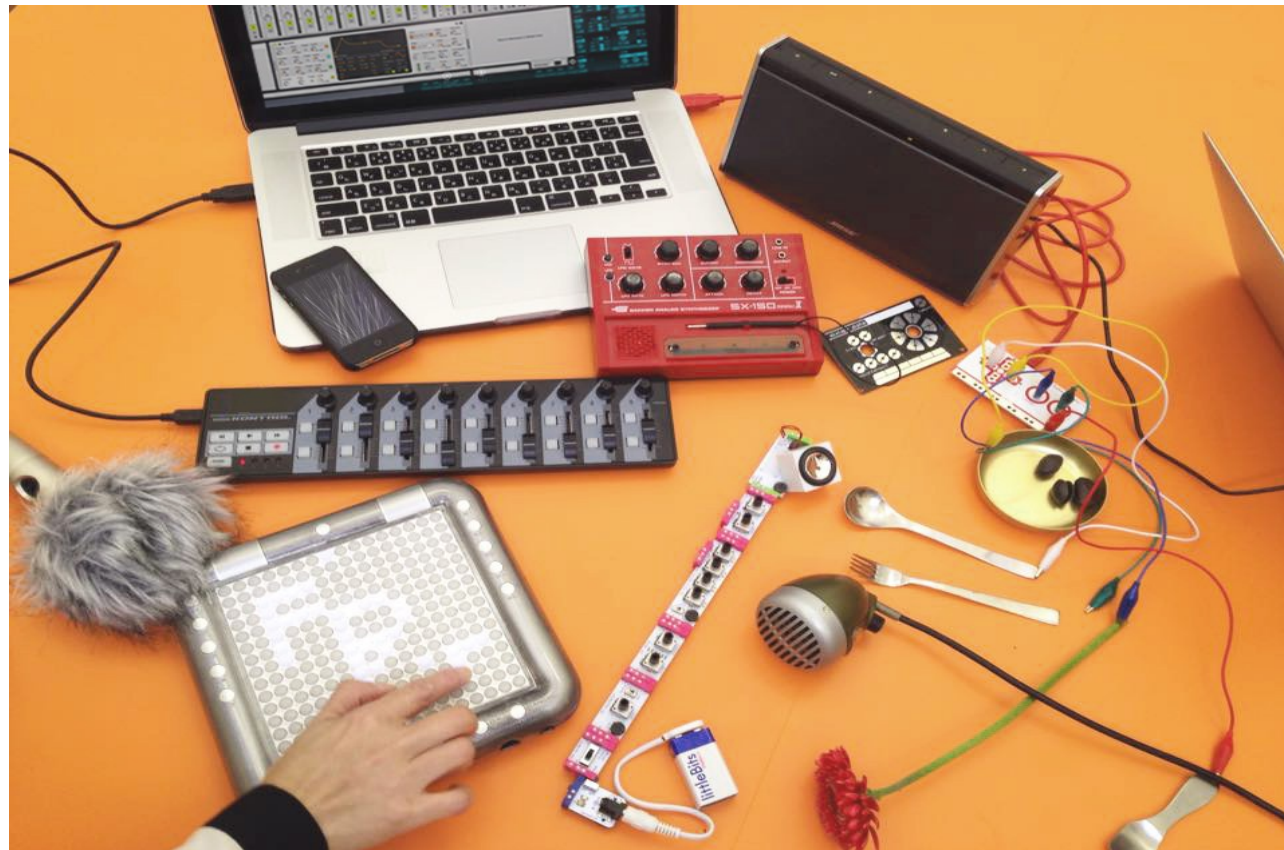
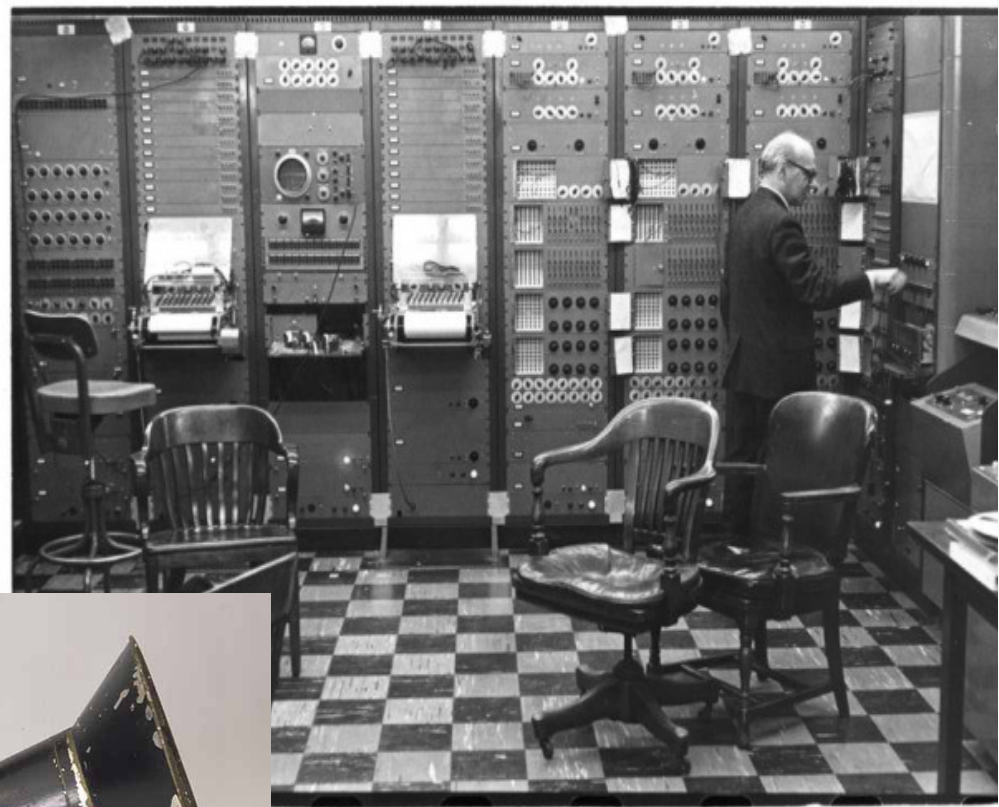


D.I.Y. ミュージック

暮らし x テクノロジーで音楽をつくろう



過去の音楽



現在の音楽



未来の音楽

未来の音楽は可聴範囲を越えた音も含まれていて、5感すべてを使って感じることができ、宇宙空間へと放たれる。
(DOUGLAS VAKOCH / SETI)



日焼け止めクリームのように全身に塗って使用する音楽プレイヤー。目に見えない何千というミクロのセンサーが含まれており、作品制作時のプロデューサーの体温、心拍数、知覚などの身体情報を、ユーザーにフィードバックする仕組み。それによって、プロデューサーの音楽制作プロセスを追体験できる。
(ジェフ・ミルズ)

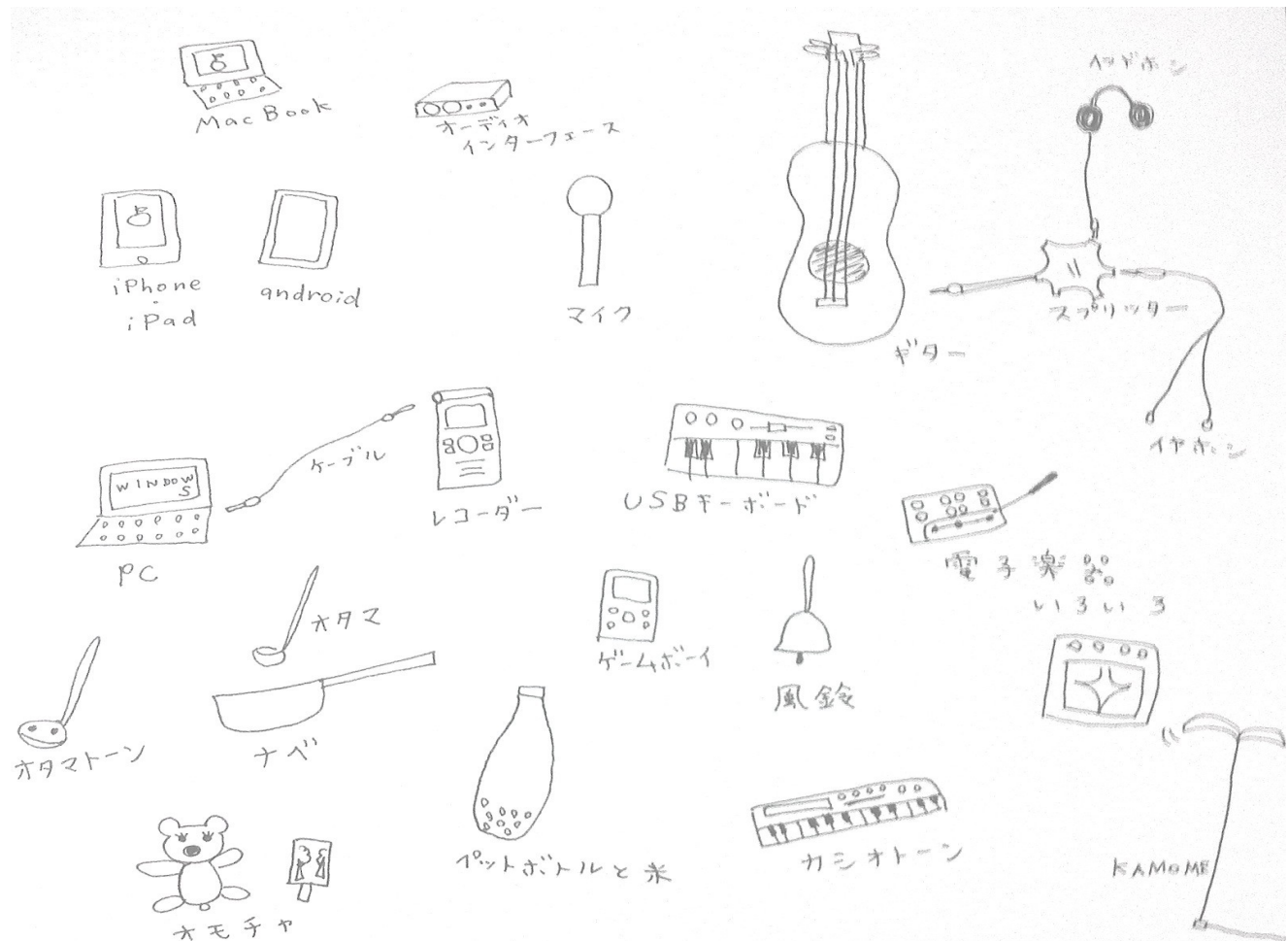


こんな感じの講義です

受講生・ゲストと一緒につくっていく場

即興的な要素

「SHARE」



音楽制作の方向性

◎ジャンルや曲にリファレンスを求める作り方

◎その場で生まれ出て来た音を生かしていくやり方
(例えば、木彫のような)

。。。例えば、粘土細工をやるときに、つくりたいものを初めに決めるか、つくりながら生まれた形から何かをつくっていくのか。

授業で大切にすること

◎「音を発見すること」「耳の意識を広げること」 → 発見をシェアすることで、さらに広がり

耳のフォーカス = 生まれ育った生活環境や耳にしてきた音楽によってつくられる

◎「！ や？ があつたら、観察して、ルール・要素を見つける。それを、他にアプライしてみる。」

音楽以外のものでも、適用可能。「当たり前」のものの中こそ、丁寧に探ってみる。

◎知識 < 経験 。。。 まずは音を出してみる、機材を色々いじってみる

市販の楽器やソフトウェアはめったなことでは爆発しません！（自作楽器は違うけど。。。）

Let's make music !

ひとまず音を出してみましよう！

ゲスト紹介① KORG 坂巻匡彦さん



1978年愛知県生まれ。東京在住。

2003年千葉大学大学院自然科学研究科デザイン専攻を修了後、株式会社コルグにプロダクト・デザイナーとして入社。

2004年に商品企画室へ異動、新規性の高い製品を中心に商品企画を担当する。

2013年4月より千葉大学非常勤講師、
2014年4月より株式会社コルグ 商品企画室室長 兼 デザイン課課長。

KORG 坂巻さんが開発に関わった楽器の一例



ゲスト紹介② パイオニア 岡田晴夫さん



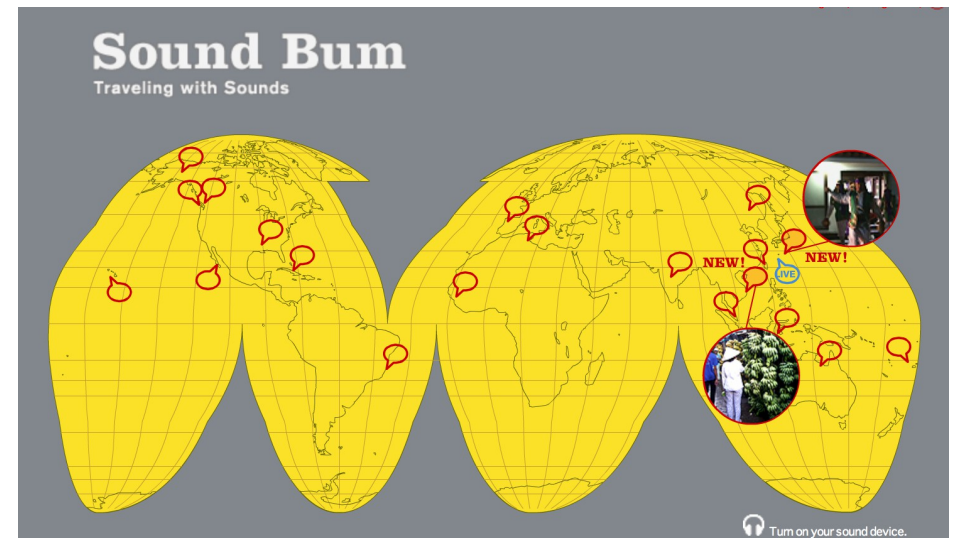
1970代よりレコーディング・エンジニアとして様々なジャンルの音楽録音を行う。1990年パイオニア勤務を機に、音楽制作・製品企画などにも参加。

1999年「Sound Bum」を立ち上げ、世界各国でのフィールド・レコーディングを数多く行う。

2008年 Webサイト「Sound Lab.」アップに伴い音に関するディレクション及び音源制作を担当。また音によるインターフェースAUI (Auditory User Interface) のプロジェクトを推進、車載用機器の操作音等の音源制作も行っている。

岡田さんの関わっているプロジェクトの一例

パイオニア GLOBAL SOUND (アプリ)

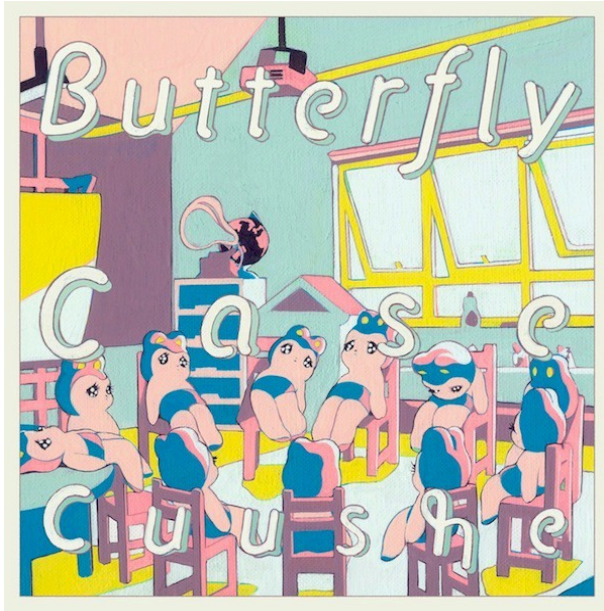


Sound Bum プロジェクト
(川崎義博さん、西村佳哲さんらとともに
行っているプロジェクト。)

ゲスト紹介③ flauレーベルオーナー ausさん



flauのリリースの一例



飛び入りゲスト？

daisuke miyatani
(音楽家、+coffee)



SESSION TIME !

みんなでセッション！

